The Journal of Hirosima University Dental Society

広島大学歯学雑誌

第8巻　第1号～第2号
昭和51年（1976）

総　目　次

広島大学歯学会
The Hiroshima University Dental Society

広島大学歯学雑誌　第8巻第1号（昭和51年6月1日発行）

目　　次

総　　説

Pin Restoration における最近の進歩 ……山田　早苗，浜田　泰三… 1（1）

原　　著

ヒト耳下腺唾液の Iodide-Hydrogen Peroxide Oxidoreductase に関する研究
—特に等電点9.6の酵素の精製と性状ならびにその抗菌作用について—
安武　愛記…… 12（12）
エナメル質の防禦壁……今西　市治，細井　光輝
狩山　尚三，銅金　裕美… 28（28）
小　柱　の　堀……今西　市治，細井　光輝
狩山　尚三，銅金　裕美… 33（33）
エナメル質形成に関する今西の仮説……今西　市治，細井　光輝… 39（39）
今西間橋・今西運河・小柱間橋……今西　市治，細井　光輝
狩山　尚三，銅金　裕美… 43（43）
前象牙質の層状構造（象牙質の発育線）……今西　市治，細井　光輝
狩山　尚三，銅金　裕美… 47（47）
進行性筋ジストロフィー患者(児)の歯列弓について……浜田　泰三，伊井　一博
川添　和幸，山田　早苗… 51（51）
進行性筋ジストロフィー患者(児)の開咬の頭部X線規格写真による分析
……浜田　泰三，古本　健二
山田　早苗，山内　和夫… 55（55）
進行性筋ジストロフィー患者(児)の咀嚼値について……浜田　泰三，今田　和秀
小林　　誠，山田　早苗… 61（61）
歯垢中における唾液成分の同定……片山　　巌，札場　郁生
高田　和彰，福井　良雄
福井　一博…… 65（65）
両生類の舌および口腔粘膜の比較走査電子顕微鏡的研究……野村　　巍，宗岡洋二郎
菅野　義信…… 70（70）
肝細胞膜電位についての生理学的研究……柴　　芳樹…… 79（79）
ツイストドリルによるピンホール切削時の発熱について……勝島健太郎，前谷　照男
吉光　博史，浜田　泰三
山田　早苗…… 95（95）

学　会　記　事

第20回広島大学歯学会例会……104（104）
第21回広島大学歯学会例会……107（107）
広島大学歯学会会員名簿……111（111）

広島大学歯学雑誌　第8巻第2号（昭和51年12月1日発行）

目　　次

総　　説

口腔感覚の生理学

Ⅰ．味　　覚……菅野　義信… 1 (113)

原　　著

局所麻酔薬座擧の発現機序に関する研究

—とくにγ-アミノ酪酸(GABA)との関係について—……池田　正弘… 8 (120)

有歯顎者の口腔内における立体識別と厚みの弁別に関する研究

……高木　道弘，長沢　亨

津留　宏道，岡田　周造… 21 (133)

パーシャルデンチャーの設計の差による咀嚼機能と

口腔感覚の相違に関する臨床的研究……松尾　純一，佐々木　元

高木　道弘，山科　透

長沢　亨，津留　宏道… 28 (140)

イモリ胃粘膜上皮細胞の低温下における膜電位と電位発生ポンプ

……山見　俊明，浜田　泰三

山田　早苗，宗岡洋二郎

柴　芳樹，菅野　義信… 37 (149)

ヒト唾液中CRP試験陽性物質について……高瀬真理子，戸田　恭司

谷本加代子，藍　正章

安武　愛記，岩本　義史… 42 (154)

レジン充塡材料におけるフィラーの表面処理効果に関する研究

第一報　物理的性質に及ぼす影響について……山木　昌雄，沢野征一郎

中沢　省三　　… 47 (159)

Bleomycinを使用した口腔悪性腫瘍患者の剖検例を中心とした臨床的考察

……田中　淑郎，田村　浩一

水野　良行　　… 56 (168)

齲蝕治療装置GK-101の臨床試験成績 ……島末　一則，福場　祥郎

新谷　英章，井上　時雄… 64 (176)

カエル味覚器の発生・分化に関する走査型および透過型電子顕微鏡的研究

……野村　嶸… 70 (182)

ウシガエル変態期後半の舌咽神経味応答……柴　芳樹，野村　嶸

前谷　照男，宗岡洋二郎

菅野　義信　　…101 (213)

症　　例

Kugelberg-Welander病患者の咀嚼機能について……浜田　泰三，小林　誠

山田　早苗　　…104 (216)

学 会 記 事

第9回広島大学歯学会総会……110 (222)

第22回広島大学歯学会例会……116 (228)

会 務 報 告……120 (232)

広島大学歯学雑誌投稿規程

Ⅰ．総　　則

1）投稿は原則として本会会員に限る。

2）論文は他誌に発表掲載したことのない総説，原著および症例報告とする。

3）原稿は冗長を避け，簡にして要をつくしたものであること。

4）投稿論文の受付締切日は原則として，各巻1号については3月末日，2号については9月末日とする。

5）原稿の掲載順序（原則として受付順），体裁等は編集幹事において決定する。

6）原稿は400字詰め，B5判原稿用紙にひらがな（現代かなづかい法，付録3参照），かい書，横書きとし，学術用語等特殊なものを除き当用漢字を準用する。

7）提出原稿は表紙，本文，文献，脚注，図表の説明，表・図または写真の順に一括して左上隅を紙ひもでとじ，クリップ，ステープラー（紙とじ器）等を使用しない。

8）校正は別紙要領により朱書きして所定の日時までに返却し，校正に当たっては文章あるいは内容の訂正，変更等を行なってはならない。

9）投稿料は別に定める。

10）別刷は50部単位で受け付け，端数の注文は受け付けない。

11）発行後誤りを発見した場合にはただちに編集幹事に報告し，次号に正誤表を添付してこれを訂正する。

12）原稿の送付や編集に関する問い合わせ等は下記あてとする。

広島市霞一丁目2番3号（郵便番号 734）
広島大学歯学部
広島大学歯学雑誌編集責任幹事　　辻　本　　明
電話 51-1111（内線 745）

あ と が き

本号に総説を寄稿していただいた菅野教授に感謝の意を表する。8巻2号にも1号に続いて学位論文が掲載され，質量ともに優れたものとなりつつあるのは喜ばしい限りである。今後も学位論文をはじめとして優れた研究成果を奮って投稿して頂きたい。なお，論文投稿に際しOral Research Abstractに掲載される英文抄録をご提出戴くことになっているので重ねてご協力をお願いする。（昭51. 12. 長沢記）

編集委員

篠原正氣　辻本　明　長沢　亨
西川殷維　花岡　宏　山木昌雄

（五十音順）

昭和51年11月25日印刷
昭和51年12月1日発行

【非売品】

編集兼発行人　広島大学歯学会編集責任幹事
辻本　明

発行所　広島市霞一丁目2番3号（〒734）
広島大学歯学会
電話 51-1111
振替口座 広島13854

印刷所　広島市西白島町16番17号
岡正印刷所
電話 28-0335～7